

平成30年度  
平和記念式典派遣事業



期 日： 平成30年8月5日（日）～6日（月）

派遣先： 広島市（広島県）



利根町

## 利根町非核平和都市宣言

### 「利根町非核平和都市宣言に関する決議」

利根町には、日本人の心の奥底にすりこまれた「ふるさとの原風景」がある。初めて訪れた人は懐かしさを感じずにはいられない。

天の雲を映す水田が、青く鮮やかな一面の田となり、やがて黄金色となって風にさざめく。

先人たちが大切に守り継いできた田園風景と日々の暮らしが調和した、美しくかけがえのないふるさとの姿がここにある。

このすばらしい郷土の中で、平和で安心して暮らせることは利根町民すべての願いである。

このような私たちの願いに反し、未だ核兵器の存在は世界の平和に深刻な脅威を与えている。

世界で唯一の核被爆国である我が国は、多くの尊い生命が奪われた。いかなる理由があろうとも広島・長崎の惨禍を再び繰り返し、すべての人類にもたらしてはならないことは、私たちの不変の決意であり、「非核三原則」を将来にわたり遵守するとともに核兵器の廃絶と世界の恒久平和を強く願わずにはいられない。

利根町、恒久平和の願いを新たにし、「非核平和都市」であることをここに宣言する。

平成 27 年 12 月 14 日

利根町議会

# 目 次

1	事業の概要	1
2	平和記念式典派遣事業内容	2
	・ 平和記念式典参加者結団式及び保護者説明会	
	・ 広島平和記念式典派遣 1 日目（平成 30 年 8 月 5 日）	
	・ 広島平和記念式典派遣 2 日目（平成 30 年 8 月 6 日）	
	・ 平和記念式典参加生徒による全校生徒への報告会（利根中学校 体育館）	
3	参加生徒の報告	
	参加者感想文及び平和へのメッセージ～	6
	・ 利根中学校 3 年 3 組 永 見 翔 空	
	・ 利根中学校 3 年 2 組 安 藤 り ん	
	・ 利根中学校 1 年 1 組 関 柚 華	
	・ 利根中学校 1 年 2 組 宮 崎 愛	
	・ 利根中学校 1 年 2 組 湯 下 和 香	
	・ 利根中学校 1 年 3 組 渡 辺 佳 乃	
4	平和記念式典派遣事業写真集	12

◎平和記念式典派遣事業概要 事業報告

(1) 目的

被爆地の広島市へ中学生を派遣し、戦争の現実、被爆の惨状等について知り、学び、考える機会を提供することにより、核兵器の廃絶及び恒久平和の重要性に対する理解を深めることを目的とする。

(2) 期 日

平成30年8月5日(日)～6日(月)

(3) 場 所

広島県 広島市

(4) 平和記念式典派遣事業参加者結団式及び保護者説明会

平成30年7月24日(火) 役場 町長公室

(5) 事前学習

平成30年7月24日(火) 役場 町長公室

(6) 参加者

利根町教育長		杉 山 英 彦
利根中学校	3年3組	永 見 翔 空
	3年2組	安 藤 り ん
	1年1組	関 柚 華
	1年2組	宮 崎 愛
	1年2組	湯 下 和 香
	1年3組	渡 辺 佳 乃
利根中学校教諭		前 田 菜 摘
教育委員会学校教育課		大 越 克 典
利根町役場総務課		久保田 政 美

## 広島市平和記念式典派遣事業内容

### ◎広島平和記念式典派遣事業参加者結団式及び保護者説明会

◇平成30年7月24日（火）午後6時～ 利根町役場 町長公室

#### ○結 団 式

- ・あいさつ（町長，教育長）
- ・参加者自己紹介
- ・事業内容説明
- ・派遣団 決意のことば
- ・写真撮影
- ・行程等の説明
- ・参加生徒の心構え

#### ○事前学習

「広島・長崎 原爆の歴史」教育委員会指導室長  
（一部順不同）

利根中学校生徒代表が決意のことばを町長に伝達



参加者による写真撮影



◎広島平和記念式典派遣（1日目）

◇平成30年8月5日（日）

- 出発式（布佐駅前） 6：30
- 移動（布佐～広島） 6：57～
- 被爆体験者講話 13：30～
- 広島平和記念資料館見学、  
千羽鶴奉納 15：00～
- ホテルにてミーティング 18：00～

出発式



布佐駅（改札口）



被爆体験者講話



利根中学校生徒が折った千羽鶴を奉納



◎広島平和記念式典派遣（2日目）

○広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式参加

◇平成30年8月6日（月）平和記念公園 8：00～8：50

- ・開 式
- ・原爆死没者名簿奉納
- ・式 辞
- ・献 花
- ・黙とう・平和の鐘
- ・平和宣言（広島市長）
- ・放 鳩
- ・平和への誓い（こども代表）
- ・あいさつ
- ・ひろしま平和の歌（合唱）
- ・閉 式

○原爆ドーム・碑めぐり 9：30～

○移動（広島～布佐） 14：17～

○解散式（布佐駅構内） 19：50

黙とう



広島原爆ドーム

平和への誓い（こども代表）



原爆の子の像



◎平和記念式典参加生徒による全校生徒への報告会

◇平成30年12月10日（月） 利根中学校体育館

【広島平和記念式典参加者報告会】

- 1 被爆者体験講話の感想
- 2 広島記念式典参加報告等（映像スライドショーを含む）
- 3 「広島平和記念式典に参加して」感想発表（参加者全員）



## ◎参加者感想文及び平和へのメッセージ

### 広島平和記念式典派遣事業に参加して

利根町立利根中学校 3年3組 永見 翔空

僕は、今回実際に広島に行くまでは、平和記念式典や、原爆というものがどういうものなのか、あまり分かっていませんでした。でも、今回広島に行って印象に残ったことはたくさんあります。

まず一つは、原爆資料館に展示してある写真などです。特に火傷を負った人達の写真や、きのこ雲の写真には驚きました。火傷といっても普通の火傷とは比べ物にならないくらいひどかったのです。

二つ目は被爆者の方の話です。実際に体験した方の話を聞くと、鮮明にそのときの様子が浮かんで来るようでした。火傷を負った人達が、防水用水路に集まり「水をください」と言って亡くなっていったという話を聞き、とても胸がいたくなりました。

被爆した方々は、現在高齢になっています。だからこれからは、実際に話を聞き、資料館を見て来た僕たちが、原爆の恐ろしさを皆に伝えていかなければいけないと思いました。



### ～平和へのメッセージ～

平和な世界、平和な世界と口だけで言っても何も変わらないと思う。何か少しでも、行動を起こせるように協力し合えたらよいと思いました。

一日でも早く核が無くなるように願っています。

## 広島平和記念式典派遣事業に参加して

利根町立利根中学校 3年2組 安藤 りん

今回、広島平和記念式典派遣事業に参加して最初に思ったことは、平和であることに対する感謝です。

話を聞いたり、写真や実物を見たりして、こんな時代があったんだと驚きました。

本や授業等で学習する機会はありましたが、それでも実際にみると、73年前、この場所でこんなひどいことがあったなんてとショックを受け、それと同時にこのようなことが二度とあるべきではないと考えました。

私達と同じような年で、あるいはもっと小さな人も、あの一発だけで亡くなってしまった。そんな物が今もあることがとても恐ろしく、また一刻も早く核兵器が無くなってほしいと心から思いました。そして、毎日当たり前のようにご飯を食べて、友達と話して、安心して眠っている。そんな平和な今に深く感謝をし、それがこの先何十年も続いていけるよう、戦争の恐ろしさや、平和の尊さを伝えていきたいと思いました。

このような貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。



### ～平和へのメッセージ～

今、平和な世界であることを願います。  
世界で起こっている内戦や国どうしの戦争、核兵器が1つでも多くな  
ることを願っております。

また、平和であるための努力をおこたらない世の中になるよう、平和の  
大切さを伝えていこうと思います。

## 広島平和記念式典派遣事業に参加して

利根町立利根中学校 1年1組 関 柚華

私が広島に行って心に残ったことは、二つあります。一つ目は、「8時15分」を表すモニュメントです。

「8時15分」を表しているモニュメントの周りには、原爆が投下されたときにくずれてしまった建物のがれきやオリーブの木が植えてあり、一つ一つ小さなところまで原爆で亡くなった人々を弔うため、丁寧に管理されていて感動しました。

そして、二つ目は死没者追悼空間です。死没者追悼空間とは、原爆死没者を静かに追悼し、平和について考える場所です。そこで特にすごいと思ったのは、壁面に爆心地付近からみた被爆後の町並みが表現されているのですが、それが、昭和20年(1945年)末までの死没者数約14万人と同じ数のタイルを使っていたことです。空間は円形になっていて、中央に水盤が置いてあります。この水盤も、原爆投下時刻の「8時15分」を表したデザインになっていました。水を求めて亡くなられた方々を追悼するため水を捧げているのを見て、本当に一つ一つ平和に対して向き合っていることを感じ、私も平和についてもう一度見直すことができました。



～平和へのメッセージ～

今後、このような原爆がおきないように、みんなで協力してそして助け合って平和を築いていきたいです。

## 広島平和記念式典派遣事業に参加して

利根町立利根中学校 1年2組 宮崎 愛

私は、この派遣事業に参加して、様々なことを考え、色々なことを思いました。

まず、今の日本でずっと保たれている「平和」の大切さです。私は、戦争に参加したこともないし、見たこともありません。しかし、資料館に見学に行ったり、語り部の方のお話をうかがったりする中で、戦争や原爆の悲惨さや、むごさ、平和がどれだけ大切で重要なのかを段々と学んでいきました。

広島に原爆が投下された8月6日の8時15分。たくさんの方がたった一発の爆弾で尊い命をうばわれたのです。投下された瞬間、明るかった空が急にオレンジ色に変わり、髪が焼ける音が聞こえたそうです。被爆し、大変なやけどを負った方は、手をつき出して歩きます。なぜだかわかりますか。皮ふがたれさがっているからです。たれさがった皮ふが足にあたると激痛が走るからです。おそらくみなさんは皮ふがたれさがるほどのやけどをしたことが無いでしょう。それは、原爆の被害によって亡くなった方々と、平和な国にするための努力をおこたらず、あきらめずに絶望的な状況下でも一歩ずつ前へ進もうとした方々のおかげです。だからこそ、戦争を、原爆を知らない私達の世代が後生に受けついでいかなければなりません。

世界中に平和をもたらすためには、過去の過ちと悲しみをくり返さないように、より多くの人に知ってもらわなければならないのです。



～平和へのメッセージ～

この世界から核兵器や原子爆弾と呼ばれるものがすべて無くなること、世界の国と国との間に争いがおこらないことを願っています。

## 広島平和記念式典派遣事業に参加して

利根町立利根中学校 1年2組 湯下 和香

1日目に行った被爆者の方のお話を聞いてみての感想は、急に起こった悲劇で広島が一瞬にして変わってしまっただけで大変ショックだろーと思ひました。被爆者の方から、「自分の帽子を探しに行くと、練兵場に焼けている人々がたくさんいて、焼けている人々は真っ赤だった。」と聞いて、とても痛々しい感じがしました。被爆者の方はとても辛い思いをしていることも改めて分かりました。また、広島平和記念資料館を見学してきて、実際に原爆をうけた方が着ていた洋服や、体に火傷をおっている方の写真があつて、とても痛々しかったです。

2日目に行った、広島平和記念式典に参加してきて、私も日本の平和のため、世界の平和のために努力しようと思ひました。また、碑めぐり、原爆ドームの見学では、たくさんの外国人の方がいて、日本のことを思ってくれてるとうれひしい思いになりました。

これからは、日本中の皆、世界中の皆が日本の平和、世界の平和を願って、努力していきたくひ、努力してほしいと思ひます。



～平和へのメッセージ～

私は世界から核兵器がなくなるように1人1人努力し、声をかけ合うことをやっていきたいし、やってほしいと思ひています。

## 広島平和記念式典派遣事業に参加して

利根町立利根中学校 1年3組 渡辺 佳乃

被爆体験講話では、お話をしてもらった江川さん(李さん)の苦しみを理解することができました。当時あった在日韓国人への差別に加え、原爆が投下されるという二重の苦しみを受けたことが分かりました。

また、原爆が投下されたのを自分の目で見たからこそ、私たちに教えてくれたこともたくさんありました。例えば、爆風によって弁当箱が30mも先にとばされたことや、やけどには植物性の油が良かったなどということを教えて頂きました。

広島平和記念資料館の見学では、原爆が広島に投下されて時間が止まったように感じました。とけてしまったビー玉やびりびりになってしまったワンピース、苦しんでいる町の人々の写真などを見て原爆の怖さ、おそろしさを実感しました。また、やけどした人の写真などを見て、気持ちがつらくなりました。

たった一つの原爆で一瞬にして町を焼き、人々を苦しませる。そんなものは世界にあってはならないものだと思います。

この2日間を通して、平和の大切さについて改めて考えることができました。戦争が起きていなかったら原子爆弾が落とされることはなかったと思います。町が焼かれ、人々が苦しむことはなかったとも思います。

原爆ドーム、碑めぐりのときに同行して下さった浜田さんがおっしゃっていた「人間は忘れると同じ過ちをくり返してしまう。」が私の心に残りました。だから8月6日は、絶対に忘れてはならない日だと思います。



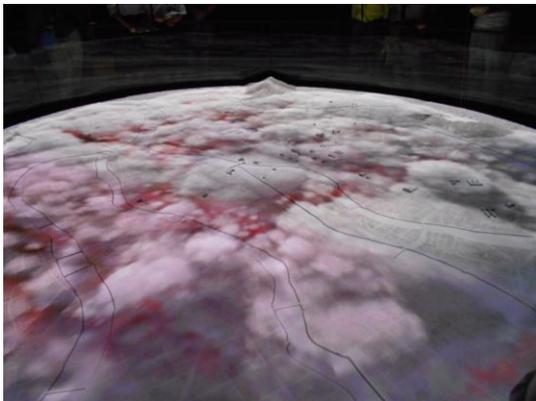
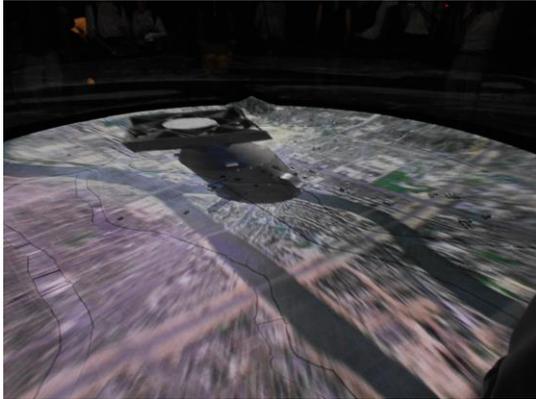
～平和へのメッセージ～

平和な世界になるためには、8月6日に原子爆弾が落とされたこと忘れてはいけないと思います。人々が共に協力し、助け合うことが平和につながる最初の一步です。73年前に起きた事実を私たちのような若い人たちが学び、伝えていくことで平和が次の世代にもつながると思います。

◆平和記念式典派遣事業写真集













### ◎編集後記

編集にあたり、73年前の8月6日も平成30年と同じ月曜日であり真夏の太陽が照りつけていました。午前8時15分に広島に原子爆弾が投下され、まちを一瞬にして破壊し、多くの人々の命が奪われました。また、生き延びてきた人々も放射線の後遺症に恐怖を感じ、今でも苦悩の根源となっています。

利根町では、昨年に続き2回目となる平和記念式典に中学生の生徒を派遣して、世界の中で唯一の被爆国である日本において、戦争の現実、被爆の惨状について、中学生に知り、学び、考える機会を提供することにより、戦争のない社会を次世代に継承するため実施したものです。まもなく、平成も終わり、戦争を体験した高齢者も年々減少していきます。今回参加された生徒の皆さんにおいては、今まで教科書で学ぶ以上のことを学習し、忘れられない研修であったと思います。

最後に、今回参加していただいた利根中学校の生徒、保護者の方々、教育委員会、学校関係者の方々、また、広島市の関係者の皆様のご協力に感謝し、平和記念式典派遣事業報告書が発行できたことに、お礼を申し上げます。

平成30年度

### 平和記念式典派遣事業

編集 : 利根町役場 総務課  
茨城県北相馬郡利根町布川 841 番地 1  
TEL 0297-68-2211 FAX 0297-68-7990

協力 : 利根町教育委員会  
利根町立利根中学校

発行 : 平成31年2月